

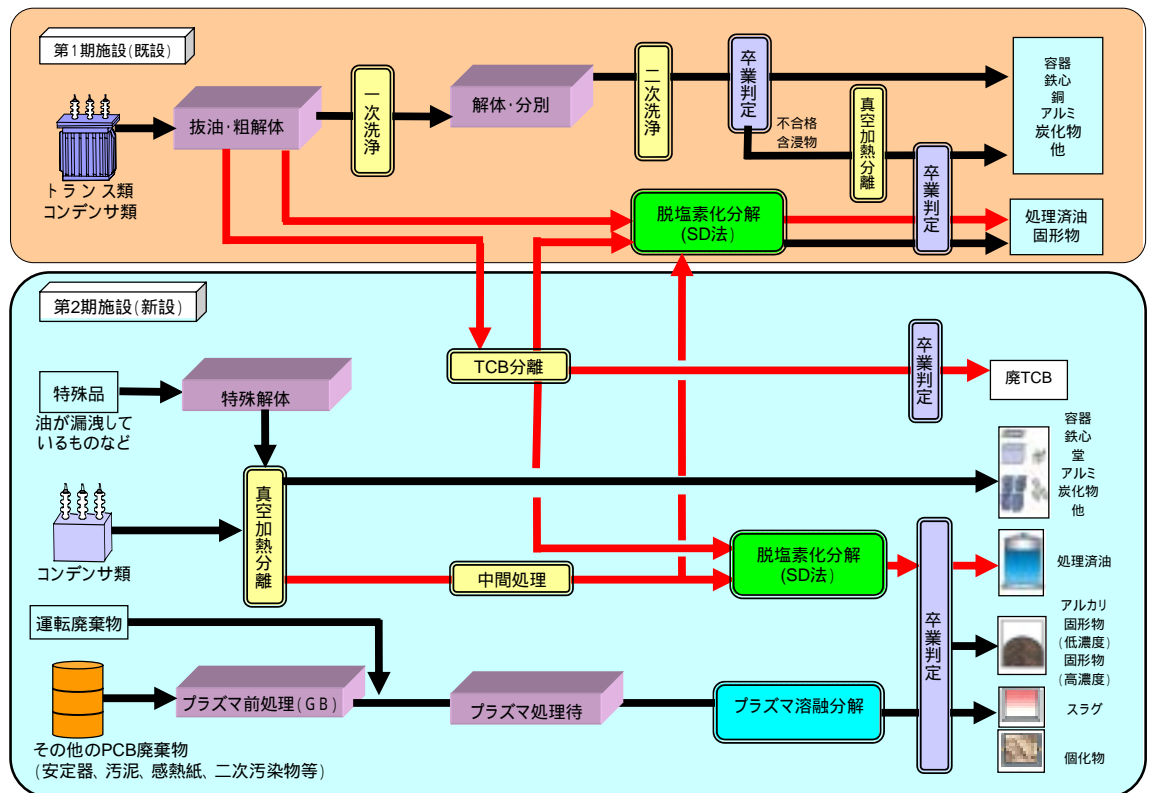
北九州第2期事業の進捗状況について

1. 平成20年度の工事、試運転概要

平成20年9月末に受電を完了し、10月末には建築検査も完了し建物が完成した。プラント設備については10月より機器調整運転を開始し、12月末にはプラズマ設備をのぞき、模擬物負荷試運転が完了した。平成21年1月7日にトランス油を第1期施設から第2期施設へ送液し、PCB廃棄物負荷運転を開始した。

プラズマ設備は、平成20年12月に溶融炉等の乾燥炊きを、平成21年2月から模擬物の溶融試験を開始し、現在PCB廃棄物による溶融試験を開始したところ。

北九州PCB廃棄物処理施設(第2期)の処理の流れ



TCBとは、トリクロロベンゼンの略で、トランスは、PCBとTCBが混ざった油が使用されている。廃TCBは産業廃棄物として処理する。



2期建屋概観（南側）



2期建屋概観（東側）



HFC301 真空加熱炉



HFH614 1系プラズマ熔融分解炉